## 第 I O 7 回広島県 N I E 学習会

## テーマ 被爆を継承し平和を希求する NIE

第1部【講話 取材のポイント】

講師中国新聞

中国新聞社 読者広報部 標葉 知美

※ 元記者の講師が、記者時代の具体的な事例を示しながら「取材のポイント」を 教えてくれました。





## 第2部【フィールドワーク「平和記念公園内の慰霊碑めぐり」】

ヒロシマピースボランティア による解説と取材の実際

※ 平和記念公園へ移動 平和記念資料館東館アオギリ前(屋外)でピースボランティアの森脇 透さん、畑口實さんと合流し碑めぐりをしました

1部で学んだ取材のポイントを踏まえ、取材しました。



















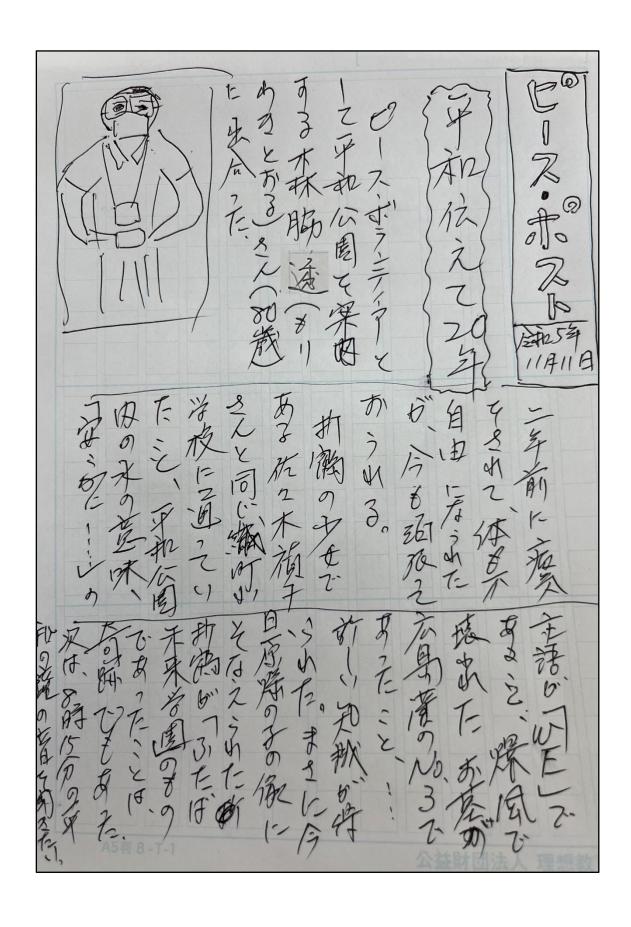
第3部【ワークショップ はがき新聞制作】

平和記念公園内の慰霊碑めぐりを題材にして

※ 取材したこと新聞にまとめました。実質20分ぐらいしか時間がない中で、作成しま した。







被爆者(-聞く) 平和への思い 父 平 中 母 7" U E 實 闡 被 親如 和 な 11 7" 11 原爆 記 瞬 爆 被 A 17 念公 爆 t= 者 お 11 さ B 0) でせ 腹 相当 国 17 火田 0 け ŧ 14 桃 h ŧ L 7 7 7 7 命在 3 希姆王 7" 0 水田 7 特 7 ta 原 時、 ち復 花 T< ŧ D 爆 E Ta 车 本 pt さ 興 島 命 咲 2 夾 tz 望 見 (1 < 14. 7 続 後 77 せ関き、原爆 語 してきたい 3 0) R 7 1= 実際に 悲じ ŧ (1 立 惨 3 5 させ 復 11 被爆 野を 5 ph 我

未来へ了了~~~ 太島平和公国のアールにことである。 一下ア本林院養さんの程は当時 あくの人々か 足時後に別くけしるの言葉の脚にけ トアクかがまた。原際は意格にそはいる当時の人下 お話と成きはから、水をむめてみんでい、又重り空かろかる、 とうすをであの配合もいか、造放を探していくてしいででくつに残る ヒロシマピースポランその一つである。そのめつて見えて、 光は力強い。 の中を越えに、きえ、随手を合うせてはていて、すきかりている。そうて 雲り空のもと水が多い、平和の他もかえかり、紅葉やまり あって。 知時からからて、 現在のきかし、秋れる 平松公園によ、ちまると、きような秋宝 人を探す旅了ールトアクル えれからの人へへの明る 部屋にもとると 成さんの行すっまい とつれてくるにちかりはい 人とうつかりか明るい赤ま

## 差石が原塚の成力

浅野家の五輪塔。原爆投下によって上部が石は壊され、下部は地面に埋むて (まった。他り)低(かて残されている墓石は 寒さで私たちに何を伝えているのか・・・・・・ 物言わめるか为くのことを伝えてくめる。

今かるのお原外がに原場がに原場がは養塔

慰霊碑からさらに奥へ歩いていくとひっそりとたけるたかとは養塔がある。そこにはりる人の遺骨が。 た地でら送られた遺骨、身元かかかって家族のもとに帰り 慰霊碑に納められた遺骨もあるか、名前かかかっていても、 家族もこくひるひとひいればりりお経っても、ひまること 眼っている人たちも、原場の教修でを今も伝えている。

平和の種

今かととかりに見られかる時 国境のけい世界地図の ように世界かかいったける日まで、 月里度か伝えるか らかに限って下で 過ちは 経返しませぬから

市場了isa即打 平和公園戶指 地因から強みいますななています 4年前 6中国町 通路南側。一角 なり住んだっか 平かな同三月メートル 九島市の中人街 かがかかて教育と 11 現平か公園 三天日周辺 2023年 千年前门了了 命等 う意なだ。た あります。 京年展示十 ②原楼十一人 后館として かが後世上 野和英三十人の国と聞こえり 的一年有一年的人人 使めれ地下 我中口海科 旧大正多版方 11:30 きかける 古祭与 直後から今も という音 屋車のエトラブト 北側と被爆 近くかろう 韓国人和公司 という産

